

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目	単位数	履修上の留意点			
数学		数学B	2				
指導目標	(1)数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。						
	(2)離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。						
	(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
教科書			副教材等		添削指導	面接指導	
数学B Stanndard					6回	2 単位時間	
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐	実施している		多様なメディアを利用した学習 による減免後の面接指導時間数		該当なし
		☐	実施していない				
添削指導（レポート）							
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限
1	数列（等差数列、等比数列）					1	6月29日
2	色々な数列、漸化式					1	6月29日
3	数学的帰納法、母集団と標本、確率分布					1	6月29日
4	確率分布（確率変数の平均、分散、和、積）					2	12月7日
5	正規分布、統計的な推測					2	12月7日
6	数学と社会生活					2	12月7日
面接指導(スクーリング)							
回	単位時間	学習内容				実施場所	実施日
1		数列（等差数列、等比数列）の基礎的な内容を理解させる。更に、漸化式や数学的帰納法についても理解させる。				各学習センター	6月
2		確率分布や正規分布について理解させる。社会生活に出てくる数学について、予測できるようにする。				各学習センター	12月
多様なメディアを利用した学習							
計画段階では実施予定なし							
試験							
回数	試験範囲					実施場所	実施日
1	レポート1～3					各学習センター	9月
2	レポート4～6					各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準							
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。							
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。							
その他							
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。							